

2019年（第5期）
CSAJ スタートアップ支援事業
実施報告



2019年1月～12月

CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合
無限責任組合員 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

目次

1.はじめに	3
2.CSAJ スタートアップ支援事業の概要と目的.....	4
3.実施体制	5
(1)実施体制図	5
(2)CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合	5
(3)運営委員会	6
(4)投資委員会	7
(5)諮問委員会	7
4.スタートアップ企業の支援実施概要	8
(1)全体スケジュール	8
(2)スタートアップ企業の募集	8
(3)事前審査、ヒアリング	11
(4)投資委員会にて決定した支援先	11
5.スタートアップ企業に提供した具体的な支援プログラム	12
(1)プロモーション活動支援	12
(2)メンター陣による支援	12
(3)契約書等のひながたの提供	12
(4)相談窓口の設置	13
(5)ワーキングスペース・会議室の無償提供	13

(6)製品発表の場の提供.....	13
(7)CSAJ 準会員に登録、CSAJ の各活動を紹介	14
6.CSAJ Startup Demo Day 5th の開催.....	15
(1)開催概要	15
(2)登壇・出展した企業 9 社のご紹介.....	16
7.総括	18

1.はじめに

CSAJ スタートアップ支援事業は、2015 年度から「起業家が起業家を育てる好循環」を創り、その中から『世界を変えるような革新的なソフトウェア』を生み出すことを目標とし、この趣旨に賛同する企業・個人が志を一つにして「CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合（略称：CSAJ ファンド）」を設置し、始めた事業である。

これまで CSAJ ファンドでは、革新的なソフトウェアとして、政府が進める第 4 次産業革命及び Connected Industries に貢献するような製品、サービスを生み出すソフトウェア（IoT、ビッグデータ、AI、データ連携など）の事業化を考えている企業などを対象に、投資するとともに経営者向けのセミナーや製品・サービスのプレゼンの指導やその機会を提供するなど、資金面だけでなく経営者の育成面でも支援してきた。

投資実績も 2015～19 年度の 5 年間で累計 23 件（既存投資先への再投資 1 件を含む）、22 社に約 169 百万円の投資額となったが、本事業も 5 年目でありシード期の最終年度であった。これからはその成果を見守り、CSAJ ファンドとしても彼らと今後様々な経営課題と一緒に取り組んでいくことが重要といえる。

その意味で、私を含めメンターの皆様の今後の役割はますます重要であり、これまで、例えば事務局による定期的な各社の経営会議への出席、プライバシーマーク取得への審査、他社の参考事例などの助言、事業パートナーの紹介などを行ってきた。まさに米国に根付いている起業家が起業家を育てる好循環を本格的に実践していると思う。

来年度以降は、CSAJ ファンドが所有する株式について、例えば事業譲渡や新規増資に伴う株式の売却、経営者による株式の買取りなどへの対応を慎重に進めていくこととし、このような CSAJ ファンドの取組が我が国ソフトウェア業界の活性化及び発展の一助とならんことを祈念している。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
CSAJ スタートアップ支援事業 運営委員会
委員長 和田 成史

2.CSAJ スタートアップ支援事業の概要と目的

(1)起業家が起業家を育てる仕組み

ベンチャー企業は経済を活性化させる重要な役割を担っている。それは米国の IT 系ベンチャー企業が米国経済を牽引している現状をみれば、疑問の余地はないだろう。シリコンバレーでは年間平均 1 万 7300 社が起業し、1 万 2,800 社が廃業している（このデータの出所は、“Silicon Valley Index 2012”で、数字は 1995 年から 2010 年の平均値）。もちろん、この起業数と廃業数の差、4,500 社がすべて成功して大企業に成長するわけではない。半ば死んだような状態で存在し続けるゾンビ状態になるベンチャー企業も少なくない。大企業に買収されるか、新規株式公開（IPO）してエグジットに成功する企業は、この 4,500 社の一部でしかない。しかし、その中には時価総額数十兆円の Google や Facebook が含まれている。

重要なことは、この膨大なチャレンジがあるからイノベーションが生まれ、世界を変えるソフトウェアが生まれてくるという点にある。もちろん、単純にチャレンジの数を増やせばよいというものではない。抜きん出た才能をもった人材を発掘し、起業を支援する仕組みが必要である。

米国にはスタートアップ・アクセラレータと呼ばれる組織がいくつも存在する。2005 年にわずか数万ドルで設立されたシリコンバレーの Y Combinator LLC もその一つで、オンラインストレージ・サービスの Dropboxなどを育て上げ、2010 年までに投資したベンチャー企業の評価額は数十億ドルになっている。スタートアップ・アクセラレータは、シード期のベンチャー企業に投資するだけでなく、起業家を教育・訓練する仕組みを持っており、起業経験者が起業家を育てるという好循環エコシステムの一部になっている。日本にもこうしたシード期のベンチャー企業に投資を行い、起業家を育てる仕組みが必要なのではないだろうか。

(2)ソフトウェアで世界に挑む –ソフトウェア分野におけるスタートアップを支援

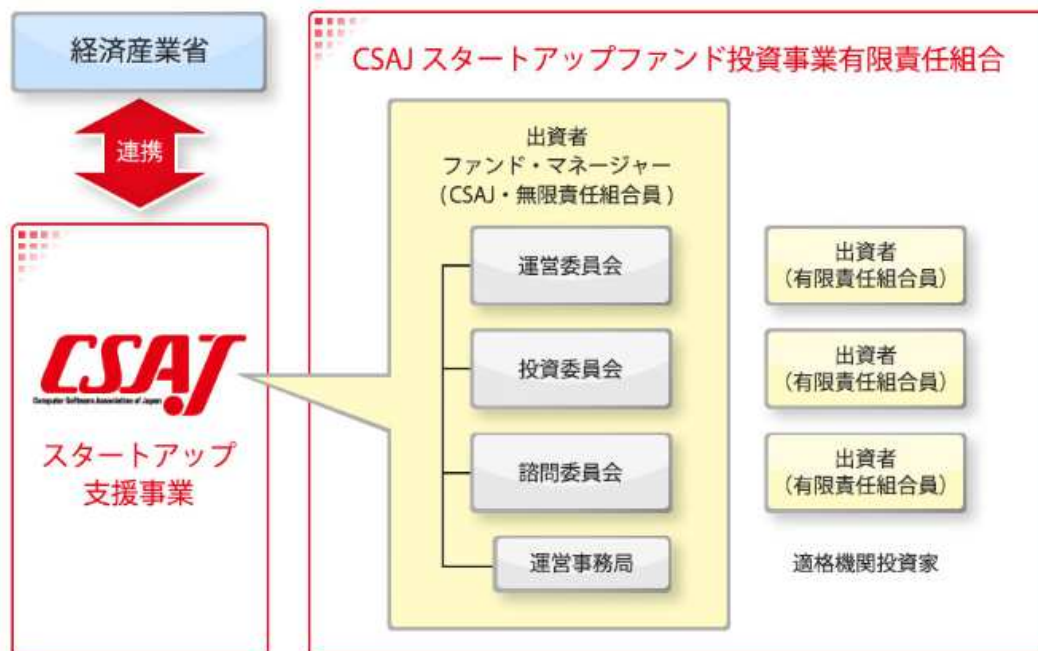
そこでCSAJでは、シリコンバレーのような「起業家が起業家を育てる好循環」を創り出し、そこから『世界を変える革新的なソフトウェア』を生み出すことを目的とし、ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップを公募、選定し、出資を行うとともに、CSAJ会員企業の経営者等による経営指導、メンタリング、教育・訓練等を行う「CSAJスタートアップ支援事業」を2015年6月よりスタートした。

IT分野では、非IT分野と比べて、起業の必要資金が少なく事業化が容易だと言われている。特にソフトウェアのような知識集約型産業では、もっと多くのベンチャー企業が生まれも不思議ではない。そうしたチャレンジが増えることによって、世界を変えるイノベーションが生まれる可能性が高まることが期待できる。そこで、日本のソフトウェア産業の業界団体として30年の歴史を刻むCSAJは、そのポテンシャルを活かして、世界に挑むことのできる優れた才能を発掘し、ソフトウェア産業の次の30年をリードする新しい企業を育てる事業「CSAJスタートアップ支援事業」を開始した。

3.実施体制

CSAJスタートアップ支援事業は、以下の体制で実施した。

(1)実施体制図



(2)CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合

支援対象のスタートアップ企業に出資するため、2015年6月15日に組成した「CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合(以下、「CSAJファンドという」)」においては、CSAJが無限責任組合員(以下「GP」という)の役割を担い、CSAJ内に「運営委員会」「投資委員会」「諮問委員会」をそれぞれ設置した。CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合の概要は以下の通り。

ファンド名称	CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合 (略称：CSAJファンド)
無限責任組合員(GP)	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
出資規模	2億8,500万円
組成日	2015年6月15日
存続期間	7年を想定
組成組合員	一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(GP) 株式会社豆蔵ホールディングス 株式会社フォーラムエイト さくらインターネット株式会社 フリービットインベストメント株式会社 サイボウズ株式会社 株式会社コーエーテクモキャピタル キャピタル・パートナーズ証券株式会社(適格機関投資家) 株式会社コスモ・コンピューティングシステム 株式会社大塚商会 IOTスタートアップ株式会社 前川 徹 株式会社アイビス・キャピタル・パートナーズ

(3)運営委員会

CSAJ内に設置した「運営委員会」は、本事業の基本的な方針の決定、事業の運営管理、支援するスタートアップ企業の選定等を行った。運営委員会のメンバーは以下の通り。

和田 成史(委員長)	株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長/CSAJ名誉会長
荻原 紀男	株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役会長 兼 社長/CSAJ会長
青野 慶久	サイボウズ株式会社 代表取締役社長/CSAJ副会長
伊藤 裕二	株式会社フォーラムエイト 代表取締役社長/CSAJ副会長
襟川 恵子	株式会社コーエーテクモホールディングス 代表取締役会長/CSAJ名誉顧問
田中 邦裕	さくらインターネット株式会社 代表取締役社長/CSAJ副会長
清水 高	フリービット株式会社 取締役副社長
高間 徹	
平野 高志	ブレークモア法律事務所 弁護士/CSAJフェロー
黒住 哲理	東京丸の内法律事務所 弁護士
湯川 抗	昭和女子大学 グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科 教授
日野 和麻呂	株式会社オービックビジネスコンサルタント 開発部 部長
善方 正義	EY新日本有限責任監査法人 公認会計士
前川 徹	東京通信大学 教授/国際大学GLOCOM 主幹研究員/CSAJフェロー
笹岡 賢二郎	CSAJ専務理事

2019年は、計3回の委員会を開催し、主に以下の内容を検討した。

<委員会の開催>

第22回	2019年03月13日
第23回	2019年09月11日
第24回	2019年12月11日

<検討事項>

1)2019年度CSAJスタートアップ支援事業について

- ・2019年のスタートアップ支援事業の実施概要について
- ・起業家の応募状況報告
- ・起業家向け支援プログラムについて
- ・中間発表会(CEATEC JAPAN)について
- ・最終発表会(Demo Day)について

2)CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合(略称：CSAJファンド)について

- ・第5期CSAJファンド事業報告・決算報告について
- ・第5期CSAJファンドの投資結果について
- ・第6期CSAJファンドの年間計画(案)および予算(案)について

(4)投資委員会

CSAJ内に設置した「投資委員会」では、応募されたスタートアップ企業から最終的な投資候補者を選定し、CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合に推薦した。投資委員会のメンバーは以下の通り。

荻原 紀男(委員長)	株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役会長 兼 社長/CSAJ会長
和田 成史	株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長/CSAJ名誉会長
青野 慶久	サイボウズ株式会社 代表取締役社長/CSAJ副会長
伊藤 裕二	株式会社フォーラムエイト 代表取締役社長/CSAJ副会長
田中 邦裕	さくらインターネット株式会社 代表取締役社長/CSAJ副会長
清水 高	フリービット株式会社 取締役副社長
前川 徹	東京通信大学 教授/国際大学GLOCOM 主幹研究員/CSAJフェロー
笹岡 賢二郎	CSAJ専務理事
アドバイザー	
松原 健二	株式会社セガゲームス 代表取締役社長COO

※必要に応じて、アドバイザーや法務関係の専門家にも参加を依頼した。

2019年は、2回の委員会を開催し、投資候補の選定が行われ、2019年に投資を決定した企業は1社（追加投資）となった。詳細は後述の通り。

<委員会の開催>

第15回 2019年02月22日

第16回 2019年09月02日

(5)諮問委員会

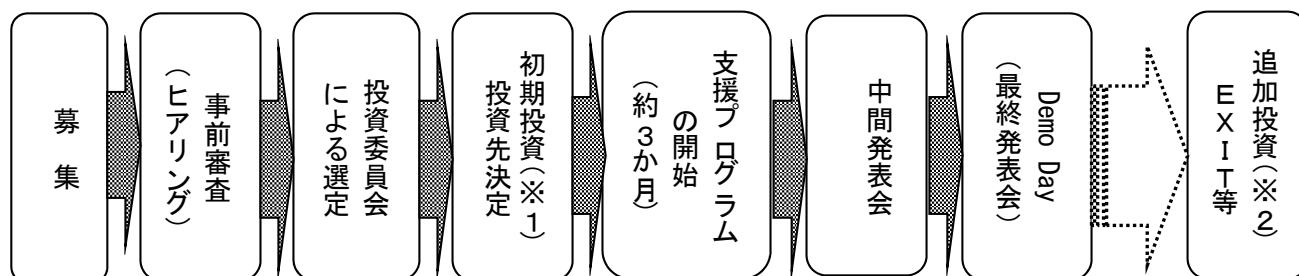
CSAJ内に設置した「諮問委員会」では、CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合契約に基づく取引等に関し、無限責任組合員等に意見を求められた場合など、必要に応じて対応した。諮問委員会のメンバーは以下の通り。

水谷 学	ピー・シー・エー株式会社 取締役相談役/CSAJ筆頭副会長
筒井 豊春	キャピタル・パートナーズ証券株式会社 代表取締役会長

4.スタートアップ企業の支援実施概要

「本気で日本のITベンチャーを育てる」をモットーに、CSAJ スタートアップ支援事業では、まずはスタートアップ支援を希望する企業の募集を行い、運営委員会および投資委員会で支援候補を選定し、最終的に投資委員会で投資候補として採択されたスタートアップ企業に対し、次のような支援プログラムを約3ヶ月提供し、その後、投資家に向けた発表会を実施し更なる成長を支援した。

<募集から投資までの流れ>



<CSAJ ファンドからの投資>

シード期の初期投資

300万円～1000万円程度（取得株式：5～10%を想定）

(1)全体スケジュール

2019年のCSAJ スタートアップ支援事業は、以下のスケジュールで実施した。

	2019 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2020 1月
運営委員会			●(3/13)						●(9/11)		(12/11)	●	
投資委員会		●(2/22)						●(9/2)					
組合員集会			●(3/13)										
起業家募集 (一次・二次)				募集期間: 4/1～7/31 →									
キャピタルコール	●												
定期セミナー				定期セミナー、中間発表会については、新規投資企業がなかったため開催せず。									
中間発表会													
最終発表会												Demo Day 5th (12/5)	●
CSAJファンド 決算報告	▲(第4四半期)			▲(第1四半期)			▲(第2四半期)			▲(第3四半期)			
		▲第4期後期					▲第5期前期						
			▲第4期決算										

(2)スタートアップ企業の募集

CSAJ ファンド5期目となる2019年のスタートアップ企業の募集は4月より7月まで行った。

募集にあたっては、CSAJ の会員企業等への周知のほか、ベンチャーキャピタル関係者等への個別アプローチを行うほか、独立行政法人情報処理推進機構（以下「IPA」という。）および一般社団法人未踏（以下「未踏社団」という。）の協力を得て、IPA が実施する未踏 IT 人材発掘・育成事業（未踏事業）と連携し、創業を目指すソフトウェア技術者に広くアプローチを行うことができた。

その結果、2015年6月の本事業のスタートからの累計では、以下の通り79社の応募があった。

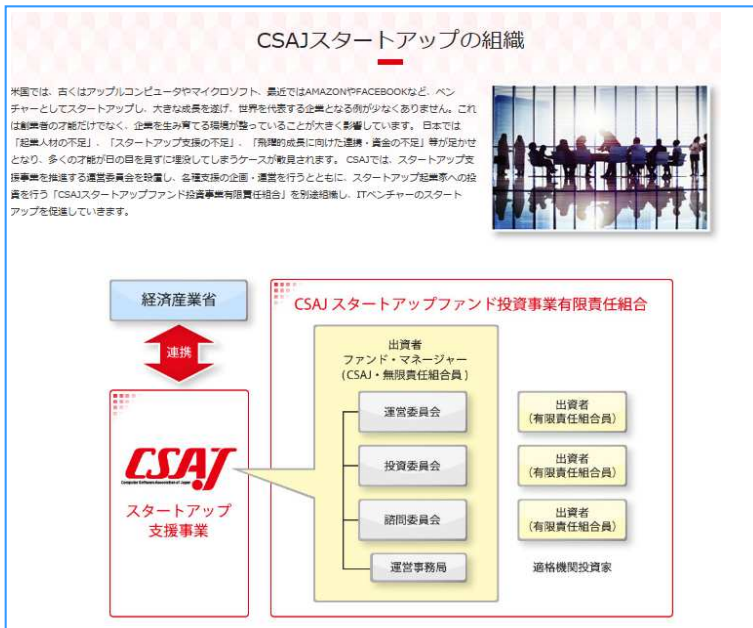
第1期(2015年)	一次募集 (4月1日~7月31日)	15社	
	二次募集 (10月1日~12月10日)	6社	
第2期(2016年)	一次募集 (4月1日~7月31日)	9社	
	二次募集 (10月1日~1月31日)	11社	
第3期(2017年)	一次募集 (4月1日~7月31日)	10社	
	二次募集 (10月1日~1月31日)	9社	
第4期(2018年)	一次募集 (4月1日~7月31日)	4社	
	二次募集 (10月1日~1月31日)	15社	
第5期(2019年)	一次募集 (4月1日~7月31日)	9社	合計 88社

※二次募集は実施せず

== 公式 Web サイト ==
<https://www.csajstartup.com/>

<トップページ>

<組織>



<メンバー陣>

和田 成史 (委員) (株)オービックビジネス コンサルタント 代表取締役社長 CSAJ 監事 (暫定)	藤岡 紀男 (株)巨額ホールディングス 代表取締役会長兼社長 CSAJ 会長	青野 勉久 サイボウズ(株) 代表取締役社長 CSAJ 副会長	伊藤 純二 (株)フォーラムエイト 代表取締役社長 CSAJ 副会長
田中 祥裕 さくらインターネット(株) 代表取締役社長 CSAJ 副会長	清水 真 フリービット(株) 取締役副社長	櫻川 康子 (株)コーエーエンターテインメント 代表取締役社長 CSAJ 監事 (暫定)	平野 真志 ブレイクモア法律事務所 弁護士 CSAJ フェロー
高橋 毅 元米商ベンチャー企業 Vice President	栗川 真 昭和女子大学 グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科 教授	日野和麻呂 (株)オービックビジネス コンサルタント 開発部 部長 日本RA(株) 取締役	黒住 悠理 東京丸の内法律事務所 弁護士
		さらに、約620社の会員を持つ「CSAJ」がサポート	
藤川 毅 慶応大学 GLOCOM 所長 東京通信大学 情報マネジメント学部 学部長 教授 CSAJ フェロー	飯岡 賢二郎 (一社)コンピュータソフトウェア協会 専務理事		

(3)事前審査、ヒアリング

2019年に行われたCSAJファンドのGP(CSAJ)による事前ヒアリングは、2018年の二次募集から2019年一次募集までに応募された24社を対象に行い、投資委員会に建議する6社を選定した。

- 2018年 二次募集期間 2018年10月1日～2019年1月31日
 - エントリー数 15社
 - 事前ヒアリング 15社
 - 投資委員会建議 4社
- 2019年 一次募集期間 2019年4月1日～7月31日
 - エントリー数 9社
 - 事前ヒアリング 9社
 - 投資委員会建議 2社
- 2019年 二次募集 実施せず

(4)投資委員会にて決定した支援先

2019年1月～9月に開催された第15回～第16回の投資委員会では、事前審査で選定された4社について建議したところ、新たな投資先は選定されなかった。

また、今年度より既存の投資先についての再投資も検討することとなり、応募のあった7社について建議したところ、1社に追加投資を行った。

累計では22社への投資を行っている。(各社の詳細は後述を参照)

※2015年より支援している22社は以下の通り。

- Bank Invoice (バンクインボイス) 株式会社
- 株式会社eBook Cloud (イーブッククラウド)
- 株式会社プレミアムアーツ
- 株式会社Manabelle (マナベル)
- 株式会社Mealthy (メルシー)
- FacePeer (フェイスピア) 株式会社
- モビルス株式会社
- ミクロマクロリンク株式会社
- tripla (トリプラ) 株式会社
- 株式会社円簿インターネットサービス
- 株式会社インサイト・プラス
- グリッドロー株式会社 (支援終了)
- トリムマーク株式会社
- 株式会社ウエルネスデータ
- 株式会社トレイル
- エブリセンスジャパン株式会社
- 株式会社テックフォースレボ (支援終了)
- キャップクラウド株式会社
- 株式会社パルソラ
- ライフログテクノロジー株式会社
- 株式会社ウェブエッジ
- 株式会社toraru (トラル)

5.スタートアップ企業に提供した具体的な支援プログラム

支援先となっっているスタートアップ企業には、以下の支援プログラムを提供した。

- (1)プロモーション活動支援
- (2)メンター陣による支援
- (3)契約書等のひながたの提供
- (4)相談窓口の設置
- (5)ワーキングスペース・会議室の無償提供
- (6)製品発表の場の提供
 - ・投資家向け製品発表の場（Demo Day 5th）
 - ・CSAJ アライアンスビジネス交流会での発表
- (7)CSAJ 準会員に登録、CSAJ の各活動を紹介

(1)プロモーション活動支援

支援先企業の PR として、以下のとおり実施した。

- CSAJ スタートアップ公式サイトへの採択企業のロゴ掲載

<http://www.csajstartup.com/>



(2)メンター陣による支援

運営委員会メンバーがメンターとなって、スタートアップ企業への支援を個別に対応した。また、680社を超えるCSAJ会員企業から、支援を希望する企業の紹介なども行った。

(3)契約書等のひながたの提供

Web サイトにおいて、下記の各契約書等のひながたを公開している。

- 掲載 Web ページ

<http://www.csaj.jp/activity/project/startup/support.html>

- 掲載している書式等

- 会社設立にともなって決定すべき事項のリスト
 - ・ 株式会社用
 - ・ 合同会社用

- 定款のひながた
 - ・ 定款 雑型（取締役会 あり）
 - ・ 定款 雑型（取締役会 なし）
 - ・ 定款 雑型（合同会社）
- 株主間契約
- 投資契約書
 - ・ シード・ラウンド用（競合避止義務なし）
 - ・ シード・ラウンド用（競合避止義務あり）
- 新株予約権割当契約書（税制適格についての考慮なし）

(4)相談窓口の設置

以下の相談窓口を設置し、相談を受け付けた。

- 相談窓口メールアドレス startup-info@csaj.jp
相談内容に応じて、事務局より先輩起業家（メンター）および専門家の方々を紹介した。
- CSAJ の活動に協力をいただいている専門家の方々の Web を紹介
<http://www.csaj.jp/activity/support/consulting.html>

(5)ワーキングスペース・会議室の無償提供

以下のワーキングスペース・会議室を無償で提供した。

- CSAJ 内ワーキングスペースおよび会議室の利用
希望に応じて、CSAJ 内ワーキングスペースおよび会議室を無償にて利用可とした。
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6
赤坂グレースビル 3 階
地図： <https://www.csaj.jp/member/room.html>
利用可能日時：平日 10:00～19:30
(土・日・祝日、年末年始休暇、協会設立記念日を除く)



(6)製品発表の場の提供

スタートアップ企業の製品発表の場として、投資家向け製品発表の場「Demo Day」の開催、そしてCSAJ が主催するアライアンスビジネス交流会での発表等、発表の場の提供を行った。

- CSAJ Startup Demo Day 5th ※詳細は後述。
 - ・ 会期：2019年12月5日(木)
 - ・ 会場：東京ミッドタウン
- CSAJ アライアンスビジネス交流会での発表
CSAJ では、IT 企業間で互いのビジネスパートナーを探していただくためのビジネスマッチングの場を提供する「アライアンスビジネス交流会」を年に 5 回開催しており、CSAJ スタートアップ支援事業で支援を受けている企業からも以下のとおり発表が行われた。
2019年04月23日 株式会社パルソラ
※2020年4月以降の発表企業も調整中。

(7)CSAJ 準会員に登録、CSAJ の各活動を紹介

スタートアップ企業が CSAJ 準会員として登録することで、CSAJ の各種活動への参加を可能とした。CSAJ 準会員として協会活動に参加し、各種情報収集や会員企業様との人脈拡大などに利用された。

○CSAJ 入会のご案内

→ <http://www.csaj.jp/nyukai/index.html>

6.CSAJ Startup Demo Day 5th の開催

－第 5 回目となる投資家向け発表会を開催－

CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合と一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)の共催で、「CSAJ Startup Demo Day 5th」を2019年12月5日(木)に東京ミッドタウンにて開催した。

はじめに、CSAJ スタートアップ支援事業投資委員会委員長の荻原紀男 CSAJ 会長より開会挨拶があり、続いて経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課課長 瀧島勇樹 様より「デジタル、アフリカ・インド、スタートアップ」と題して基調講演が行われた。

そして、スタートアップ企業 7 社がプレゼンテーションを実施。質疑応答も時間いっぱいまで繰り広げられた。

発表終了後は、懇親会場に用意したデモブースで、参加各社が思い思いのデモブースを確認し、様々な質問や、時には厳しいご意見等により、スタートアップ企業の将来性を見定めていた。



＜懇親会場の様子＞

(1)開催概要

主 催：一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

CSAJ スタートアップファンド投資事業有限責任組合

後 援：経済産業省

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会（JVCA）

一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター（VEC）

一般社団法人未踏

日 時：2019年12月5日（木）14:30～19:00

会 場：東京ミッドタウン タワー4F カンファレンス Room7

聴 講：約 70 名

主催者挨拶：CSAJ 会長 荻原 紀男（株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役会長 兼 社長）

基調講演：経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長 瀧島 勇樹 氏

講演テーマ「デジタル、アフリカ・インド、スタートアップ」



主催者挨拶
CSAJ 荻原会長



基調講演
METI 瀧島課長

＜プレゼンテーション：スタートアップ企業のプレゼンテーション＞

CSAJ ファンドが投資しているスタートアップ企業、各社の製品・サービスに関するプレゼンテーションを実施した。（発表順）

- ・ライフログテクノロジー株式会社
- ・株式会社プレミアムアーツ
- ・株式会社パルソラ
- ・株式会社 toraru
- ・キャップクラウド株式会社
- ・株式会社円簿インターネットサービス
- ・エブリセンスジャパン株式会社






<懇親会/デモ展示>

発表終了後、会場を移してスタートアップ企業の製品・サービスを実際にご覧いただくデモブースを用意した懇親会を開催。デモブースでは、7社が自社の製品・サービスを紹介した。

- ・株式会社円簿インターネットサービス
- ・株式会社 toraru
- ・FacePeer 株式会社
- ・ライフログテクノロジー株式会社
- ・キャップクラウド株式会社
- ・株式会社パルソラ
- ・株式会社 Mealthy

(2)登壇・出展した企業 9 社のご紹介

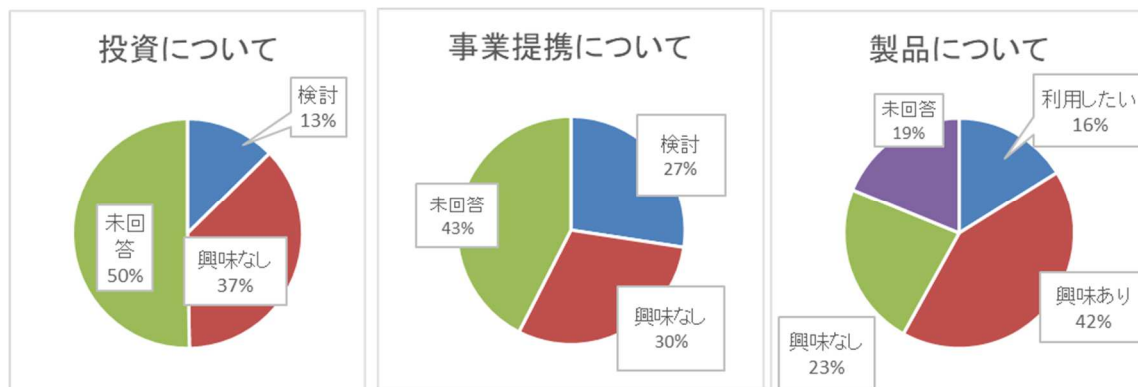
	エブリセンスジャパン株式会社 http://every-sense.com/ 製品名：データ流通プラットフォーム EverySense
世界中のあらゆるセンサーデバイスが生成するデータと、そのデータを利用して今までにない事業やサービスの開発、学術研究に取り組む企業・研究機関が求めるデータの「希望条件」をマッチングさせ、データの売買を仲介する世界初のデータ流通プラットフォームです。(ピッチのみ)	
	株式会社円簿インターネットサービス https://yenbo.co.jp/ 製品名：円簿クラウド
「クラウド円簿」は、すべての機能を永続的に無料でご利用いただける、小規模企業、個人事業主向けのビジネスポータルサイトです。(ピッチ・デモ展示)	
	キャップクラウド株式会社 http://www.capcloud.co.jp/ 製品名：anyplace
中小企業向けのクラウドソリューション事業を展開しています。世の中の働き方の選択を拓けるサービスを提供しており、少子高齢化や労働者人口減少などの問題を解決するため、働き方の常識を破る挑戦をしています。(ピッチ・デモ展示)	
toraru	株式会社 toraru http://toraru.co.jp/ 製品名：toraru, genchi
新しいコミュニケーションを創る会社として、オンラインサービス業として、WEB とタブレット・VR・AR・ロボット・ドローンなどを絡めたサービスを提供しております。(ピッチ・デモ展示)	
	株式会社パルソラ https://www.parsola.com/ 製品名：作品投稿アプリ「izure」
スマートフォンに最適化した活字表現=カードノベルで、日本のエンターテインメントを世界に発信する！(ピッチ・デモ展示)	
	FacePeer 株式会社 https://www.face-peer.com/ 製品名：FaceHub
FaceHub はビジネスで最も大切なコミュニケーションを、オンライン × リアルタイムでより効率的かつ緊密なものにして、企業の持続的な成長を支援します。(デモ展示のみ)	

	株式会社プレミアムアーツ http://www.premiumartsinc.com/
	製品名：LiveAR
あらゆる 3D-CAD データを活用し、IoT (Thingworx) や解析ソフト (MATLAB) と連携した、エンタープライズ向け AR・VR ソリューションを提供しています。(ピッチのみ)	
	株式会社 Mealthy https://mealthy.co.jp/
	製品名：Mealthy
Mealthy は、法人向けに糖尿病・透析予防のための食習慣改善を支援するバーチャル栄養アシスタントを提供しています。(デモ展示のみ)	
	ライフログテクノロジー株式会社 https://calomeal.com/
	製品名：カロミル
ヘルスケアアプリ「カロミル」は、毎日の食事・運動を写真だけで簡単に記録できるアプリです。ライフログの記録にとどまらず、ライフログデータから AI がアドバイス付きの体型予測を行ったり、食事履歴の自動集計・食事アドバイスを自動で行うことが可能です。(ピッチ・デモ展示)	

○当日の聴講者アンケートでいただいた主な意見は以下のとおり。

- ・それぞれ質問時間があってよかった。
- ・新鮮な内容で UPDATE できている
- ・ご案内くださり有難うございました。大変参考になりました。
- ・どの話も面白かったです。

*上記の他、プレゼン企業への個別コメントも多くいただいた。



「CSAJ Startup Demo Day 5th」終了後、会場で収集したアンケート結果をもとに、興味を持った VC や事業会社 14 社との橋渡しを行い、各社が個別に連絡するなど、積極的な活動を行った。今後の成果を期待しているところである。

また、「CSAJ Startup Demo Day 5th」実施記録として以下の Web にて終了報告を掲載しておりますのであわせてご参照いただければ幸いです。

終了報告 https://www.csaj.jp/NEWS/activity/startup/20191205_report.html

7.総括

2015年に経済産業省より受託した『平成26年度補正「先端課題に対応したベンチャー事業化支援等事業（ITベンチャーのスタートアップ促進事業）」の結果を受け、CSAJでは、2015年6月に組成したCSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合（CSAJファンド）と協力し、CSAJスタートアップ支援事業を2019年も継続して実施した。

2019年は、CSAJファンドの5期目として、CSAJスタートアップ支援事業の運営委員会・投資委員会と連携し、スタートアップ支援企業の募集から投資、各種支援等の作業・イベントはおおむね順調に実施することができた。以下は、事業実施の概要である。

- 1) 2015年に組成したCSAJファンドでは、2016年1月末まで有限責任組合員（LP）を募集し、CSAJを含む13組合員（企業・団体・個人）で組織され、出資約束金額は2.85億円となった。
- 2) CSAJファンドは、金融商品取引法による適格機関投資家等特例業務にしたがってCSAJが無限責任組合員（GP）となって運営を行った。
- 3) 2019年（第5期）のスタートアップ企業の募集は、CSAJスタートアップ支援事業公式サイトにて行い、一次募集では9社の応募があり、2015年（第1期）から2018年（第4期）までの応募とあわせた応募総数は88社となった。
- 4) 2019年に開催した投資委員会では、新規投資先は採択されなかったが、既存投資先への追加投資も検討することとなり、1社への追加投資を決定した。
- 5) 投資を決定したスタートアップ企業を育成するため、契約書等の雛型の提供、相談窓口の設置、コワーキングスペース・会議室の無償提供等の各種支援プログラムを提供した。
- 6) 12月5日にベンチャーキャピタル（VC）、事業会社のベンチャー投資部門などの関係者を集めDemo Day 5thを開催し、約70人の来場により大変盛況な会となり、今後の追加投資が期待されている。
- 7) 第5期でシード期への投資は終了とし、二次募集は実施しなかった。今後は投資先企業の成長を見守りつつ、支援を継続する。

過去の実施報告は、下記URLよりダウンロードいただけます。

<https://www.csaj.jp/activity/project/startup/report.html>

- 「2015年（第1期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」
- 「2016年（第2期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」
- 「2017年（第3期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」
- 「2018年（第4期）CSAJスタートアップ支援事業実施報告」

以上

2019年(第5期)CSAJスタートアップファンド支援事業 実施報告

2020年3月 発行

発行 CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合
無限責任組合員 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル
TEL : 03-3560-8440 FAX : 03-3560-8441
URL : <https://www.csaj.jp/>

©2020 CSAJ Startup Fund Investment Limited Partnership
Computer Software Association of Japan